

様似郷土館だより

— 2025年 4月号 Vol.13 —

編集・発行：様似郷土館

〒058-0024 北海道様似郡様似町会所町1番地／TEL 0146-36-3335／Mail samanikyoudokan@future.ocn.ne.jp

令和7年度もよろしくおねがいいたします！今年で59年目となる郷土館ですが、R6年度の入館者数は800人を超え過去最多となりました。企画展もカンカン講座、昆虫、チョウと3回実施いたしました。チョウ展の展示標本は大和コレクションの1割ほどを使用したため、今後も内容を変えて開催したいです。夏休みには更にパワーアップした昆虫展が実施出来るよう頑張ります！今年も昆虫採集に注力しますので、面白いものを発見しましたら様似郷土館までお知らせください。

幕別町からチョウの標本や用品の寄贈がありました(右写真)。着々と昆虫関係資料が集まっており嬉しい限りです。様似郷土館の収蔵資料の多くは地域の方からの寄贈によります。遺跡の出土物や昆虫標本などは担当学芸員が収集してきますが、昔の生活用品や写真などは寄贈品が多いです。もし、お引越しや遺品整理の際に町内の古い写真などがありましたら、郷土館へお知らせください。

3月26日に実施されたムックリの講演会はとても面白かったです。鳴らすのに少し苦労しました。職人裁きでムックリを手早く作り上げる姿(右写真)や世界大会での話など貴重な講演でした。(榎本尊)



カンカン講座 3月

【報告】

3月29日(土)に「様似川のさんぽ」を開催いたしました。16名が参加し、様似川周辺の歴史を学びながら、鳥の観察や笹船流しをしました。風は強かったものの、天気は良く参加者は楽しみながら、加藤学芸員の解説に聞き入っていました。酒造の話、牧場の話、鉄道の話など内容也多岐にわたり、私たちの身近に潜む“歴史”をより深く知るいい機会となりました。来年度も面白い企画が盛りだくさん、お楽しみに！



昆虫紹介 「セッケイカワゲラ」

12号に続き、冬場の積雪上で活動する珍奇な昆虫をご紹介します。セッケイカワゲラは8mm程の昆虫で溪流沿いで見かけます。幼虫の際に上流から下流に流されてしまうため、成虫になると上流を目指して歩くそうです。写真は函館市で撮影した雪上を歩くセッケイカワゲラです。様似では先週、地面を歩くカワゲラの成虫を発見しました。昆虫が活発な時期がもうすぐです♪



【予告】 カンカン講座ってどんな講座？展

【日 時】 4月9日(水)～23日(水)

【場 所】 様似町中央公民館1階 ギャラリー21

【入場料】 無料

【内 容】 カンカン講座で実施した事業内容の紹介と令和7年度の予定を紹介いたします。カンカン講座は図書館、郷土館、ビジターセンターの3館が連携して月に1回事業を実施しています。工作、散策、講話など楽しみながら町内の自然や歴史を学べます♪

2025年4月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7 休館日	8	9	10	11	12
13	14 休館日	15	16	17	18	19
20	21 休館日	22	23	24	25	26
27	28 休館日	29 祝	30 休館日			

10:00～16:30 開館 入館無料

展示解説、団体見学、郷土館資料の体験会等も実施しておりますので、希望者は様似郷土館へお問い合わせください。

台湾原住民族との交流事業

【月 日】 3月4日(火)

【場 所】 様似郷土館

【内 容】 台湾の原住民族であるブヌン族の方々が様似町にお越しになりました。町内視察の一環で14名が来館され、様似町の歴史や出土物、アイヌ関係資料を見学していただきました。館内に収蔵している台湾の蝶も見ていただきました。

【参加報告】

博物館講座「北海道のヤスデ類」

【月 日】 3月22日(土)

【場 所】 浦幌町立博物館

【講 師】 開澤菜月(帯広畜産大学大学院昆虫学研究室・大学院生)

【内 容】 道内に生息しているヤスデ類についての講演でした。ヤスデに関する話がクイズを入れながらわかりやすく解説され、これまでに発見したヤスデの記録や冬場に雪の下で活動するヤスデなど研究の話も面白かったです。様似町の観音山で採集されたヤスデも紹介されていました。



【参加報告】

講演会「ヒグマの展示標本を作る」

【月 日】 3月23日(日)

【場 所】 忠類ナウマン象記念館

【講 師】 添田雄二(学芸員)、富安洵平(帯広畜産大学教員)、

長沼知子(帯広畜産大学教員)、鈴木千尋(帯畜大の博士学生)、前田修吾(畜大えぞほね団 団長)

【内 容】 幕別町で駆除されたヒグマを「畜大えぞほね団」と解剖学研究室とともに骨格と皮標本を作製する様子やクマについての研究内容が紹介されていました。講演の内容も面白く、研究室やサークルの方々が一団となって取り組む様子も印象的でした。講演後のギャラリートークでは標本を囲んで質問ができ、骨格標本のつくり方や接着方法を伺えました。



【事業報告】

アポイカレッジ「番組制作を通してみる北海道の自然」

【日 時】 3月12日(水) 18:30~20:00

【場 所】 様似町中央公民館2階 小ホール

【講 師】 小島 裕成 氏(ニューピークフィルム 制作ディレクター)

【参加者】 35名

【内 容】 「ダーウィンが来た」や「さわやか自然百景」などの制作に関わるニューピークフィルムの小島氏に講演していただきました。ディレクターになるきっかけ、撮影の秘密道具、撮影裏話や冬に鳴くコオロギなど道内の印象的な自然についても紹介いただきました。参加者からの質問もあり、面白い講演会でした。



【事業報告】

様似郷土館企画展「魅惑のチョウ展-大和コレクション-」

【日 時】 3月12日(水)~26(水) 9:00~19:00

【場 所】 様似町中央公民館1階 ギャラリー21

【来場者数】 219人(名簿記入者)

【内 容】 昨年帯広市の大和興三記念館から寄贈のあったコレクションを中心に、写真、書籍や解説パネルを

展示いたしました。来場者名簿にはチョウの美しさや生態について面白かったとの意見が多くあり、多様なチョウの魅力をお伝え出来たかと思います。コレクションは郷土館に収蔵管理しておりますので、気になる方は郷土館までお越しください。

